

まちづくり事業提案 認定第5号決定

8月29日、合志庁舎で合志市まちづくり事業提案制度第5号となる事業認定証の交付を行ないました。

●事業名

地域で支え合う在宅高齢者・障がい者、子育て世帯の生活支援事業

●提案者

株式会社 サンコーライフサポート
代表取締役社長 橋本一郎 さん



提案者の橋本さん（左から2番目）

●事業内容

この事業は、障がい者雇用を目的とした特例子会社を設立し、行政・地域住民・地元企業が役割分担しながら、在宅高齢者、在宅障がい者、子育て世帯の人たちが住み慣れた地域でいつまでも楽しく、その人らしく生活できる環境づくりを、就労する障がい者が中心となり実現していく事業です。

具体的には、榎ノ本にある住宅型有料老人ホーム「元気な家ひまわり」で製造、配達を行なう在宅者支援「ひまちゃん弁当」を基軸とし、地域の在宅高齢者などの生活支援活動（弁当配達時の服薬管理やゴミ出し支援、買い物支援など）を行ないます。障がい者スタッフが運営するサロンも併設し、鍵っ子小学生お迎え待機スペースなども予定しています。

●参画と協働のまちづくりを目指して

市では、自治基本条例により「市民参画および協働によるまちづくり」をすすめており、皆さんからの提案をお待ちしています。

市内の小・中学校に世界地図を贈呈

8月28日、印刷業務を中心とする須屋の企業、株式会社ダイケン（松茂正實代表取締役社長）から市教育委員会へ世界地図240枚の贈呈がありました。

松茂社長より「小・中学校の皆さんに世界各国に興味を持ってもらい、地理の学習や学校・家庭でのコミュニケーションの一つとして活用してほしい」とあいさつがありました。

世界地図は、市内小・中学校各教室に掲示します。



松茂社長（左）と高村教育長（右）

交通安全を祈願して 須屋小屋地蔵祭

8月23日、須屋（堀川区）で須屋小屋地蔵祭が開催されました。明治時代から続くこの伝統的な祭りは、現在、交通安全祈願と地域住民の交流を目的に行なわれています。

歩行者天国になった県道には出店が並び、地域の女性による総踊りや子どもみこしが練り歩きました。また、地域写真展示や子どもくじ抽選会、西合志南中吹奏楽部の演奏などのイベントもあり、にぎわいました。



地域みんなで総踊り

生ごみ減量と食育活動の取り組み 園児たちが生ごみで土づくりを体験

8月5日、栄保育園の園児たちが生ごみによる土づくりを体験しました。家庭から出た生ごみにばかしの混ぜ合わせたものを、園の畑の土に混ぜ込みました。一週間後、畑の土を見た園児たちは混ぜた生ごみがなくなっていることに驚き「菌ちゃん（好気性微生物）が食べたんだ」と感動していました。

9月12日、熟成した畑にニンジンとダイコンの植え付けを行ないました。12月に収穫する予定です。



大きくなりますように

楽しく学ぶ 男女共同参画まちづくり講座

8月20日、御代志市民センターでことぶき大学と共催の男女共同参画まちづくり講座を開催しました。

市社会福祉協議会「はってん組」が「桃太郎」をモチーフに、高齢となった鬼たちのいる島へボランティアに行くと決めた「桃子」の物語「桃子の鬼が島救済物語」を演じました。230人の参加者は、大きな笑い声を上げながら、男女共同参画について楽しく学びました。



お互いを知り、お互いを思いやりながら、共同で家庭や地域をつくっていくのが男女共同参画社会の基本たい

測友会 清掃ボランティア活動

7月6日、菊池地域の測量会社からなる測友会の会員20人が、合志中学校横の天津植木線歩道の清掃を行ないました。

天候にも恵まれ、除草作業が効率よく進み、収集した雑草の量は軽トラック7台分ありました。

測友会は、菊池地域の行事への参加や清掃ボランティア、危険箇所の調査など、地域活性化のためにさまざまな活動をしています。



今後も地域のために活動していきます

合生地区地域づくり運営委員会 宝くじ助成事業で備品を購入

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、コミュニティ活動に使用する備品（かき氷機や綿菓子機など）が整備されました。

コミュニティ助成事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行なうもので、今後の合生地区地域づくり運営委員会のますますの活性化が期待されます。



購入した備品は夏祭りで使用しました